

## 交流会(NO.12)報告

作成 2008.1.21(高宮)

日 時 2008年1月20日(日) 10.30~12:30

会 場 松阪ベルファーム/レクチャールーム

参 加 飯田、大西、大森、後藤、駒田、中川、早川、林、堀内、本田、  
間宮、高宮 計12名

テーマ 「デジタル化と写真界」

話し手： 駒田紀夫(昭和30年 経済卒)

\*\*\* スピーチ&レジメから \*\*\*

カメラの歩んだ道

1861年 カラー写真システム発表

1950年 一眼レフカメラの誕生

1990年 デジタルカメラ発売

比較

- |          |                  |                  |
|----------|------------------|------------------|
| 1.フィルム写真 | ・被写体が見た目通りに写る    | ・被写体に合わせてフィルムを選ぶ |
|          | ・写した後加工はできない     |                  |
| 2.デジタル写真 | ・SDメモリーに光を電氣的に変換 |                  |
|          | ・メモリーは複数回利用可能    | ・加工の可能性が嘘の映像を作る  |
| 今後の業界    | ・一層デジタル化がすすむ     | ・フィルムはコダックが生き残る  |
|          | ・優秀なプロラボのみが生き残る  |                  |

<交流会を終えて>

4点のコンテスト入賞作品をバックに駒田氏のスピーチがありました。ひとつの作品(被写体)について時季、場所、カメラ、フィルム等広範囲の事前準備が必要であることがうかがえます。

写真はよく見ればフィルム、デジカメいずれで撮影されたものかが色彩、陰影でわかるとのこと。奥深い世界があるような気がしました。

\*\*\*\*\*

次回第13回交流会予定

日程： 2008年4月19日(土)~20日(日) 集合19日16時/懇親会18時~

会場： 鳥羽市 瀬乃崎 担当：瀬崎伸一氏(平成10年法律)

今回は宿泊で交流会を開催します。懇親会も予定していますので是非出席ください。

詳細決定次第WEBにのせ、メール、FAX、はがきで3月初旬連絡します。

以上